

鉢物ランンキュラスの初春出荷に向けた安定生産技術の開発

【背景と目的】

初春の定番鉢物であるランンキュラスは優良品種の作出等により需要が高まっており、比較的低温で栽培可能で冬季の暖房費が削減できることや、都市近郊では輸送コストを抑えられることから有利販売が可能であるため、シクラメン等に代わり今後都内での生産が有望な鉢物品目である。鉢物ランンキュラスにおける安定した初春出荷を可能にする優良品種の選定と開花調節技術を開発する。

【研究概要】

（１）主要品種の栽培特性の評価と鉢物向け有望品種の選定

種子系及び栄養系品種の商品性（開花特性、開花揃い、草姿、鉢サイズ、種苗価格等）を評価する。

（２）安定生産を目指した開花制御技術の開発

① 異なる温度条件が生育及び開花に与える影響の評価

夜温、加温期間を変えるとともに、EOD加温を利用し、開花促進、開花の揃い向上、燃料費削減について検証する。

② 異なる光照射条件が生育及び開花に与える影響の評価

長日処理、EOD光照射、単波長光照射（LED）を利用し検証する。

③ 球根の冷蔵処理方法が生育及び開花に及ぼす影響の評価

冷蔵条件を変えて開花促進効果を検証する。